

2010年度

科目名	生理解剖学A		
担当教員	片山 洋子		
配当	人社1	コード	12680
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	骨格と筋肉の機能を理解するために解剖学的に学習する。		
目的と概要	身体の機能を理解するには人体の解剖学知識が必要である。とくにスポーツの指導者や保健体育の教員にとっては不可欠な知識である。前期(A)は、骨格の機能解剖学と筋肉の生理学および神経系について講義する。後期(B)は、呼吸器、循環器、消化器などについて講義する。前期のみの履修ではなく、A,Bとも履修することを勧める。		
成績評価法	平常点(30%)ならびに2度の試験(35%ずつ)との総合評価を行う。		
テキスト	目で見るとからだのメカニズム/塚 章/医学書院		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
1 骨と筋肉のはたらき 2 全身を形作る骨格 3 骨の構造とはたらき 4 骨の成長と老化 5 関節のしくみとはたらき 6 中間試験(骨格) 7 筋肉の構造とはたらき 8 筋収縮のしくみ 9 筋肉とエネルギー代謝 10 運動と筋肉 11 中間試験(筋肉) 12 神経のしくみとはたらき 13 中枢神経(1) 脳と脊髄の構造 14 (2) 脳の役割分担 15 総括			